

授業科目名	特別支援教育概論	担当教員名	大日方 重利 / 辻岡 均
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目・特別の支援を必要とする幼児に対する理解 / 保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / オムニバス
開講学年/学期	2年 後期 (3-4期) / ※令和8年度は開講しません	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 盲・聴覚支援・養護学校の教員として長年にわたる実務経験を活かして授業を行っている。 ※「障害児保育」の指導内容を含む
授業の概要及び全体目標	発達障がいや軽度知的障がいはじめとする様々な障がいや著しい発達の遅れ、配慮が必要な家庭状況などにより特別の支援を必要とする乳幼児が保育に参加している楽しみを味わい、活動を通して達成感を感じて、生きる力を身に付けていくことができるよう、乳幼児の学び及び生活上での困難を理解し、個別の養護的・教育的ニーズに対して、家庭や関係機関と連携しながら保育者間の協働により適切に対応していくために必要な知識や支援方法について学ぶ。 * 全15回分のうち、大日方担当分の11回分において、特別支援教育全般にわたって概説、時々講義内容に関するレポートを課す。		
到達目標	<p>(1)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障がいの特性及び心身の発達を理解する。</p> <p>①インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みを理解している。</p> <p>②発達障がいや軽度知的障がいはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の心身の発達、心理的特性及び学習の過程を理解している。</p> <p>③視覚障がい・聴覚障がい・知的障がい・肢体不自由・病弱等を含む様々な障がいのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難について基礎的な知識を身に付けている。</p> <p>(2)特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する教育課程や支援の方法を理解する。</p> <p>①発達障がいや軽度知的障がいはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する支援の方法について例示することができる。</p> <p>②「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置付けと内容を理解している。</p> <p>③特別支援教育に関する教育課程の枠組みを踏まえ、個別の指導計画及び個別の教育支援計画を作成する意義と方法を理解している。</p> <p>④特別支援教育コーディネーター、関係機関・家庭と連携しながら支援体制を構築することの必要性を理解している。</p> <p>(3)障がいはないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援：障がいはないが特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。</p> <p>①母国語や貧困の問題等により特別的教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解している。</p>		
テキスト	指定しない		
参考書・参考資料等	<大日方>「特別支援教育概論」花熊 暁 他著（建邦社）、「よくわかる障がい児保育第2版」尾崎康子他著（ミネルヴァ書房）、「障がい児臨床学第2版」中村・大石編（ナカニシヤ出版）※毎回プリントを配付し、プリントを使用しながら授業をすすめる。分)		
成績評価の方法	<大日方>小テスト・レポート(目標到達度・理解度確認) 70%、平常点(受講態度等) 30% <辻岡>理解度、到達度チェック80%、平常点(受講態度等) 20%		
授業外(事前・事後)学習の方法、オフィスアワー等	<大日方>授業終了前1時間(講師控室)、直接来室してください。もしくは質問シートに記入して学務室に提出してください。 <辻岡>授業終了後(講師控室)、質問事項を質問シートに記載し、学務室経由で提出してください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	ガイダンス(授業の進め方、授業スケジュール、受講の心構え等) 障がい児教育制度の変遷、支援体制構築の必要性、インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育の理念と仕組み 理解度、到達度チェックを実施(担当:辻岡)	(1)-①	
第2回	視覚障がい、聴覚障がいがある子どもの理解と生活と学びにおける支援の方法、早期療育についての理解 理解度、到達度チェックを実施(担当:辻岡)	(1)-③、(2)-①	
第3回	障がい児保育の理念(インクルーシブ保育、合理的配慮など)及び障がい児やその他特別な配慮を要する幼児の保育の状況と課題(担当:大日方)		
第4回	障がい児保育の歴史の変遷と教育制度(担当:大日方)		
第5回	発達障がいと知的障がいの概念と種類(担当:大日方)	(1)-②	
第6回	自閉症スペクトラム障がい(ASD)の心的特性と保育(担当:大日方)	(1)-②	
第7回	注意欠如多動障がい(ADHD)の心的特性と保育(担当:大日方)	(1)-②	
第8回	学習障がい(LD)の心的特性と保育(担当:大日方)	(1)-②	
第9回	言語障がいの心的特性と保育(担当:大日方)	(1)-②	
第10回	情緒障がいと重複障がいの心的特性と保育(担当:大日方)	(1)-②	
第11回	障がいはないが特別的教育ニーズのある子どもの心的特性と保育①-貧困、虐待(担当:大日方)	(3)-①	
第12回	障がいはないが特別的教育ニーズのある子どもの心的特性と保育②-母国語など(担当:大日方)	(3)-①	
第13回	障がいや特別な配慮を要する子どもの保育計画及び家庭への支援と関係諸機関との連携・協働 第3回以後のまとめ(担当:大日方)		
第14回	特別支援教育に関する教育課程の枠組み。「通級による指導」や「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容についての基礎知識。個別の教育支援計画および個別の指導計画・保育計画を作成する意義と方法 ~3-5歳~ 理解度、到達度チェックを実施(担当:辻岡)	(1)-①、(2)-④	
第15回	ユニバーサルデザインの保育の取り組み、園内の支援体制作り(保育者間の協働)、特別な支援を要する子どもの就学についての支援~小学校との連携~、他機関(医療、保健・福祉等)との連携 理解度、到達度チェックを実施(担当:辻岡)	(1)-①、(2)-②	